

あ と が き

平成 20 年度における，広島県地域保健対策協議会の各委員会活動の集大成である「広島県地域保健対策協議会平成 20 年度調査研究報告書」をお届けいたします。

今年度も医療，保健，福祉の各分野について，非常に多岐にわたり調査，研究，協議を行ってきており，関係機関において，その成果を生かしていただきたいと考えております。

平成 20 年度の広島県地域保健対策協議会は，昨年と同様，A. 保健医療基本問題，B. 地域支援，C. 健康づくり，D. 感染症という 4 つの大きなカテゴリーのもとで，1 委員会，9 専門委員会，2 特別委員会，8 WG という組織構成で事業を推進してまいりました。

本年度は昨年度とほぼ同様の組織で運営してまいりましたが，新設された委員会は，医薬品の適正使用に関する検討特別委員会であり，脳卒中医療連携推進 WG と，急性心筋梗塞医療連携推進 WG の 2 WG も新たに設置いたしました。

いずれも今後の広島県の保健・医療・福祉のあり方について，その方向の決定づけを行う重要な委員会であり，委員の皆様の活発な協議により大きな成果が得られたものと確信しております。

終わりに当たり，参画していただいた各委員会，各 WG の委員長・委員の方々のご協力・ご労苦に深く感謝申し上げます。

そして，この報告書に盛り込まれた成果や提言が，今後の行政施策に充分反映されるとともに，関係機関において積極的に生かされることを祈念いたします。

平成 21 年 12 月

広島県医師会（地対協担当理事）

副会長 檜 谷 義 美
常任理事 堀 江 正 憲